

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年2月14日

【四半期会計期間】 第43期第3四半期(自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)

【会社名】 伊豆シャボテンリゾート株式会社

【英訳名】 Izu Shaboten Resort Co.,Ltd

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 北本 幸寛

【本店の所在の場所】 東京都港区南青山7-8-4

【電話番号】 03-5464-2380

【事務連絡者氏名】 経営企画室室長 桑原 亮介

【最寄りの連絡場所】 東京都港区南青山7-8-4

【電話番号】 03-5464-2380

【事務連絡者氏名】 経営企画室室長 桑原 亮介

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第3四半期 連結累計期間	第43期 第3四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	2,164,550	2,336,459	2,964,260
経常利益 (千円)	301,067	348,180	444,672
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	309,726	304,922	478,489
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	314,057	303,007	481,261
純資産額 (千円)	1,136,275	1,606,298	1,303,470
総資産額 (千円)	1,887,552	2,322,460	2,106,316
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	10.88	10.71	16.80
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	60.2	69.2	61.9

回次	第42期 第3四半期 連結会計期間	第43期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	0.78	0.14

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第42期第3四半期連結累計期間及び第42期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。又、第43期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを単一セグメントに変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1(四半期連結財務諸表)注記事項 セグメント情報等」に記載の通りであります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな景気回復の動きが続いております。

このような状況下、当社が展開する各レジャー施設では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、各施設の入園者数と売上確保に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高23億36百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益3億20百万円（前年同四半期比14.2%増）、経常利益3億48百万円（前年同四半期比15.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億4百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の概況は次のとおりであります。

伊豆シャボテン動物公園では、「元祖カピパラの露天風呂」が35周年を迎えました。又、ミーアキャットやブラジルバクの赤ちゃんが誕生するなど次々と新しい仲間が加わり訪れたお客様に喜んでいただきました。

伊豆ぐらんぱる公園では、体験型イルミネーションとして幅広い世代のお客様から高評価をいただいております。「グランイルミ」が3rdシーズンを迎えることが出来ました。

又、伊豆四季の花公園が「NEW YORK LAMP MUSEUM & FLOWER GARDEN」と装いも新たにリニューアルし、アートとガーデンを楽しむミュージアムとしてオープンいたしました。

入園者数は1,313千人（前年同四半期に比べ1.3%増）となりました。

なお、当社は第1四半期連結累計期間よりレジャー事業の単一セグメントへ変更いたしました。

#### (2) 財政状態の分析

##### 1. 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億34百万円減少し、5億92百万円となりました。これは主として、現金及び預金が1億96百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4億50百万円増加し、17億30百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が2億84百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて2億16百万円増加し、23億22百万円となりました。

##### 2. 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて98百万円減少し、2億71百万円となりました。これは主として未払法人税等が30百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11百万円増加し、4億44百万円となりました。これは主として、退職給付に係る負債が8百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて86百万円減少し、7億16百万円となりました。

##### 3. 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて3億2百万円増加し、16億6百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の61.9%から69.2%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

(5) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間に著しい変動があったものは、次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	設備の内容	建物及び構築物(千円)	完了年月
伊豆ぐらんぱる公園 (静岡県伊東市)	イルミネーション設備	224,177	平成29年11月

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	28,496,537	28,496,537	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。 完全議決株式であり、権利内 容に何ら限定のない当社にお ける標準となる株式です。
計	28,496,537	28,496,537		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年12月31日		28,496,537		100,000		186,500

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成29年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等) (注1)	普通株式 22,000		
完全議決権株式(その他) (注2)	普通株式 28,236,500	282,365	
単元未満株式	普通株式 238,037		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数(注3)	28,496,537		
総株主の議決権		282,365	

(注1)「完全議決権株式(自己株式等)」欄は、全て当社保有の自己株式であります。

(注2)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が29,080株  
(議決権の数290個)含まれております。

(注3)当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【自己株式等】

平成29年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
伊豆シャボテンリゾート 株式会社	東京都港区南青山 7-8-4	22,000		22,000	0.08
計		22,000		22,000	0.08

## 2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成29年10月1日から平成29年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、KDA監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	597,557	401,538
売掛金	66,562	44,761
未収入金	2,497	1,340
商品等	18,926	28,285
繰延税金資産	101,458	92,023
その他	40,025	24,455
<b>流動資産合計</b>	<b>827,027</b>	<b>592,405</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	780,127	1,064,195
土地	269,655	269,655
その他	171,355	356,999
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,221,138</b>	<b>1,690,850</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	6,877	4,361
その他	702	702
<b>無形固定資産合計</b>	<b>7,579</b>	<b>5,063</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	10,900	8,985
長期化営業債権	12,156	12,156
破産更生債権等	754	754
その他	39,671	25,155
貸倒引当金	12,911	12,911
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>50,572</b>	<b>34,141</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,279,289</b>	<b>1,730,055</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,106,316</b>	<b>2,322,460</b>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	51,003	63,908
未払金	179,065	154,566
前受金	4,340	60
預り金	10,614	18,691
未払法人税等	41,127	10,305
賞与引当金	19,268	6,508
その他	64,292	17,455
流動負債合計	369,712	271,497
固定負債		
退職給付に係る負債	131,773	140,286
偶発損失引当金	272,564	272,564
その他	28,795	31,814
固定負債合計	433,133	444,665
負債合計	802,846	716,162
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	425,462	425,423
利益剰余金	792,936	1,097,858
自己株式	11,886	12,027
株主資本合計	1,306,512	1,611,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,041	4,956
その他の包括利益累計額合計	3,041	4,956
純資産合計	1,303,470	1,606,298
負債純資産合計	2,106,316	2,322,460

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,164,550	2,336,459
売上原価	785,119	827,033
売上総利益	1,379,430	1,509,425
販売費及び一般管理費	1,098,316	1,188,517
営業利益	281,114	320,907
営業外収益		
受取利息	2	148
受取賃貸料	15,510	911
為替差益	-	115
償却債権取立益	433	2,947
保険解約返戻金	-	18,335
その他	4,107	4,896
営業外収益合計	20,053	27,355
営業外費用		
支払利息	67	55
為替差損	32	-
その他	-	27
営業外費用合計	99	82
経常利益	301,067	348,180
特別利益		
固定資産売却益	4,085	92
新株予約権戻入益	7,586	-
受取保険金	21,960	4,080
特別利益合計	33,632	4,172
特別損失		
固定資産売却損	-	383
固定資産除却損	0	1,089
減損損失	-	570
特別損失合計	0	2,043
税金等調整前四半期純利益	334,699	350,310
法人税、住民税及び事業税	31,090	35,952
法人税等調整額	6,117	9,435
法人税等合計	24,973	45,387
四半期純利益	309,726	304,922
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	309,726	304,922

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	309,726	304,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,331	1,914
その他の包括利益合計	4,331	1,914
四半期包括利益	314,057	303,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,057	303,007
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

保証債務

連結子会社以外の会社の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

(単位：千円)

前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
スイート・ベイジル(株) 115,362	スイート・ベイジル(株) 112,615

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第43半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
減価償却費	90,481	119,669

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

前連結会計年度末に比して、以下のとおり株主資本の金額に著しい変動が認められます。

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	455,091	186,500	198,388	11,918	828,062
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額					
資本金の取崩	355,091	355,091			
その他資本剰余金からその他利 益 剰余金へ振替		116,057	116,057		
親会社株主に帰属する 四半期純利益			309,726		309,726
自己株式の取得				40	40
自己株式の処分		71		81	9
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額合計	355,091	238,962	425,784	40	309,695
当第3四半期連結会計期間末残高	100,000	425,462	624,172	11,877	1,137,758

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レジャー 事業	エンターテ イメント事 業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,144,469	20,077	3	2,164,550		2,164,550		2,164,550
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,262	8,779	96,900	106,941	27,000	133,941	133,941	
計	2,145,731	28,856	96,903	2,271,491	27,000	2,298,491	133,941	2,164,550
セグメント利益又は 損失( )	224,705	17,209	70,024	277,520	3,594	281,114		281,114

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額 133,941千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「レジャー事業」、「エンターテイメント事業」、「投資事業」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より単一セグメントに変更しております。

エンターテイメント事業の売上の減少等により、当社グループの事業展開及び経営管理体制の実態等を勘案した結果、事業セグメントは「レジャー事業」の単一セグメントが適切であると判断したためであります。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	10円88銭	10円71銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	309,726	304,922
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	309,726	304,922
普通株式の期中平均株式数(株)	28,476,082	28,474,829
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。又、当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年 2月14日

伊豆シャボテンリゾート株式会社  
取締役会 御中

KDA監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	毛	利	優	印	
指定社員 業務執行社員	公認会計士	園	田	光	基	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伊豆シャボテンリゾート株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伊豆シャボテンリゾート株式会社及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。